

1 2月の植物

イツキカナワラビ オシダ科カナワラビ属

Arachniodes cantilenae Sa.Kurata

イツキカナワラビは山地の林床に生える常緑性草本。名前の由来は熊本県五木村大滝で発見されたことによる。熊本県に3ヶ所、宮崎県に1ヶ所知られていたが、鹿食害により熊本県1ヶ所、宮崎県は絶滅した。熊本県2ヶ所も鹿食害でひどい状況にあり、個体サイズも小さい。環境省の区分は“ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種”絶滅危惧IA類（CR）とされている。そのような状況の中で佐賀市三瀬村の某谷に1kmに渡り個体サイズが1mを越す群生地が見つかった。2012年のことである。「レッドデータブックさが2010植物編」以降に発見された種であるため佐賀県のカテゴリーは無い。佐賀県で新たに群生地が見つかり危機的な状況は回避された。日本固有種。



佐賀市三瀬村 井上康彦撮影